

三心を磨く

学校だより NO. 18
平成30年 6月22日(金) 発行
須坂市立東中学校
文責：金井勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇ PTA 講演会「震災を経験して」～木村紀夫さんに学ぶ～ ◇

18日(月)、本年度3回目の授業参観が行われました。今回はPTA講演会も同日開催され、講師として「木村 紀夫さん」をお招きし、「震災を経験して」と題してお話いただきました。

今回の講演会は年1度の講演会、そしてPTAの皆さんの主催であり、生徒と保護者・職員、地域の方々が一堂に会して貴重な体験談をお聴きできたことがとても素晴らしく、価値がありました。

「原発さえなければ、もっと早く発見されていたかもしれない」「もしかしたら、生きていたかもしれない」、あの東日本大震災(2011.3.11)で、奥様や娘さんを亡くされた木村さんのお話は、すべてが事実であり、その言葉や思い、実際にされた行動などのすべてが身に迫るものであり、私たちの胸に深く残りました。あれから7年余りの時が流れましたが、「まだ震災は終わっていない」ということ、「被災された方々の心の傷は、決して癒



【講師：木村 和夫 さん】

やされることのない」ということ、「復興はこれからである」ということがわかりました。そしてあの未曾有の被害をもたらした震災のことを、「私たちは決してわすれてはならない」と確信することができました。

また木村さんは、災害はもちろんのこと、自分を取り巻く環境下で、もしものことが起きた時は、「自分の命は自分で守れる人になってほしい」とも話されました。「あの時、娘さんを迎えに来てくれたおじいさんに『津波がくるかもしれないよ』と娘さんが言っていたのなら、その後の展開が大きく変わっていたかもしれない…」と話された木

「発見された次女汐風さんのくつ」

村さんの言葉には、とても重いものがありました。

自分の目の前で、もしものことが起きた時、「どう動いたらよいのか」を判断するのは自分しかいません。周りについていったり、周りの人の言葉や考えに自分の命を委ねたりするのではなく、これまでの自分の経験や学習の成果を活かして、自分で判断できる力がとても重要となります。木村さんのお話に学び、生徒たちも私たちも、万が一の場合に備えられたらと思います。

〈※以下は、講演会を聴いた生徒たちの感想から、いくつか抜粋したものです。〉

○木村さんが今でもずっと福島に行って、娘さんを探していると知り、何ともいえない気持ちになりました。家族の気持ちで考えると、やはり原発には問題が多いと思います。

- 「3.11は、まだ終わっていない」と思いました。まだまだ多くの人たちが、木村さんのような気持ちでいると思います。僕たちは、同じミスをくり返してはならないと思いました。
 - 家族を失う悲しさ、探し続ける木村さんの気持ちを知りました。地震や津波は起きてほしくないけれど、もしもの時を考え、自分で判断できるようにならなければいけないと感じました。
 - 木村さんのお話の中で特に心に残ったことは「自分の命は自分で守る」ということでした。その通りだと思いました。いざという時に、自分が正しい判断ができるようにしておかなければいけないと思いました。
 - 木村さんのお話を聞いて、自分で行動しようと思しました。木村さんは、「自分の子どもさんに、津波・震災のことをもっと教えておけば助かったかも知れない」と言っていました。子どもは言われなければ、すぐに大人に頼ろうとするから、僕はすぐ大人に頼らず、まず、自分で考えてどうすればいいのか、どう動けばいいのかを決めて、生活していきたいと思しました。自分の命は自分で守れるように、震災があったときどうすればいいのかを家族と話し合っって大切な命を守れるようにしたいと思します。
 - 「3.11」みたいな事が起きたらやはり原発は怖いと思うけど、電気をたくさん使う便利な生活を変えられない自分たちがいることも現実。起きてからでは遅いので、もっと本気で考えたい。
- ◇今回は、学校だよりやホームページなどで、地域の皆さんにも講演をご紹介したところ、多くの方々からも問い合わせやご参加をいただきました。また、須坂ケーブルテレビや須坂新聞の取材もあり、地域も含め、皆さんの関心の高さを感じました。PTAの皆さん、心に残る講演会の企画やご準備、本当にありがとうございました。



◇◇東祭にむけて動き出す！！～カウントダウン集会より～◇◇

19日（火）の生徒集会では、「東祭まであと100日！」ということから、カウントダウン集会が行われました。

中体連の各種上位大会が迫る中であっても、生徒たちは少し未来をしっかりと見つめ、着実に準備をしています。このように先を見通す力や、限られた時間を有効に活用できる力が身につくことは、素晴らしいことです。

今回の「100日前集会」では、全校でつくり・選んだ「東祭テーマ」が発表されました。

今年度のテーマは「全校の輪 全進の先」です。そしてキーワードは「つながる」「歌声」「清掃」「たてわり」の



4つです。今年度の生徒会スローガンを活かし・反映させたよいテーマができました。このテーマの具現にむけて、全校が1つとなって活動する姿が楽しみです。また、東祭のテーマソングも2曲まで選ばれました。これもまた、全校投票で決定されます。2曲ともに元気がありよく、ノリのよい曲です。決定した曲は「東中バージョン」に歌詞が一部変わります。楽しみにしてください。

※明日は、中体連「北信大会」です。本校からは卓球の男女、女子バスケット、女子バレーの4つの部活が参加します。県大会への出場めざし、力を出し切ってほしいと思します。頑張れ、東中！

